アップグレード ガイド

日本語

Prinergy

バージョン 3.1

653-00392E-JA 改訂 A
731-00072E-JA 改訂 A

www.creo.com

Prinergy

バージョン 3.1

アップグレード ガイド

creo™

著作権

Copyright © 2006 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本マニュアルのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本マニュアルの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本書は、Adobe Systems Incorporated の PDF（Portable Document Format）形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本マニュアルを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、マニュアル全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat のロゴ、および PDF は米国特許商標局に登録されている Adobe Systems Inc. の登録商標であり、その他の国で登録されている場合もあります。

Apple、AppleTalk、AppleShare、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、および Laserwriter は、Apple Computer, Inc. の商標です。

Microsoft、Microsoft Windows NT、Microsoft Windows 2000、および Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Xerox は、Xerox Corporation の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。

Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害（損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません）、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本マニュアルのテキストおよび図は、図および参照のみを目的としています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本マニュアルの内容は、事前の予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本マニュアルにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害（本マニュアルの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません）についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

RE37,376	5,325,217	5,532,728	5,742,743	5,996,499	6,158,345	6,353,216
4,558,302	5,339,176	5,561,691	5,764,374	5,998,067	6,159,659	6,366,339
4,743,091	5,343,059	5,568,595	5,764,381	6,003,442	6,164,637	6,371,026
4,992,864	5,355,446	5,576,754	5,771,794	6,014,471	6,180,325	6,377,739
5,049,901	5,359,451	5,579,115	5,785,309	6,016,752	6,181,362	6,387,597
5,079,721	5,359,458	5,592,309	5,813,346	6,031,932	6,181,439	6,396,422
5,103,407	5,367,360	5,594,556	5,818,498	6,043,865	6,186,068	6,396,618
5,111,308	5,384,648	5,600,448	5,854,883	6,060,208	6,189,452	6,407,849
5,113,249	5,384,899	5,608,822	5,861,904	6,063,528	6,191,882	6,414,755
5,122,871	5,412,491	5,615,282	5,861,992	6,063,546	6,204,874	6,422,801
5,124,547	5,412,737	5,625,766	5,875,288	6,072,518	6,208,369	6,435,091
5,132,723	5,420,702	5,636,330	5,894,342	6,090,529	6,214,276	6,441,914
5,150,225	5,420,722	5,649,220	5,900,981	6,096,461	6,217,965	6,450,092
5,153,769	5,459,505	5,650,076	5,934,196	6,098,544	6,260,482	6,456,396
5,155,782	5,473,733	5,652,804	5,942,137	6,107,011	6,266,080	6,476,931
5,157,516	5,481,379	5,680,129	5,946,426	6,112,663	6,266,134	6,477,955
5,208,818	5,488,906	5,691,823	5,947,028	6,115,056	6,267,054	6,509,903
5,208,888	5,497,252	5,691,828	5,958,647	6,121,996	6,268,948	
5,247,174	5,508,828	5,696,393	5,966,504	6,130,702	6,283,589	
5,249,067	5,509,561	5,699,174	5,969,872	6,134,393	6,295,076	
5,283,140	5,517,359	5,699,740	5,973,801	6,136,509	6,299,572	
5,291,273	5,519,852	5,708,736	5,986,819	6,137,580	6,318,266	
5,323,248	5,526,143	5,713,287	5,995,475	6,147,789	6,352,816	

Creo, Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話：1-604-451-2700
FAX：1-604-437-9891
http://www.creo.com

731-00072E-JA 改訂 A
2006 年 9 月改訂

目次

このマニュアルについて iii

このマニュアルの対象読者 iv
PDF ドキュメント iv
その他の情報 iv

1 サーバーのアップグレード 1

概要 2
アップグレード ツールおよび Prinergy アップデートのコピー 3
サーバーで Pre-Installation Check を実行 5
サーバーのアップデート 5
サーバーでの JTP の確認 7

2 Workshop のアップグレード 9

Pinergy 3.1 への Workshop のアップグレード 10
PCI を使用した Workshop ソフトウェアのアップデート 10

3 アップグレードの完了 13

サポート センターへのアップグレード完了の連絡 14

A トラブルシューティングのヒント 15

アップグレード時に発生する一般的な問題 16

B Prinergy を以前のバージョンに戻す 17

概要 18
サーバーおよびレンダー ステーションを以前のバージョンに戻す 18
クライアントの Prinergy を以前のバージョンに戻す 18

用語集 19

索引 23

このマニュアルについて

このマニュアルの対象読者 iv
PDF ドキュメント iv
その他の情報 iv

このマニュアルの対象読者

このマニュアルは、Prinergy® 3.0 システムを Prinergy 3.1 にアップグレードするユーザーを対象としています。Prinergy サーバーを 3.1 にアップデートする方法、および Workshop クライアント コンピュータを 3.1 にアップデートする方法について説明します。

このマニュアルをお読みになる際は、以下の知識が必要とされます。

- 製版工程に関する実用的な知識
- Windows® および Macintosh®、またはそのいずれかのオペレーティング システムの使用に必要な知識

このマニュアルは、Prinergy システムのハードウェア、ソフトウェア、およびネットワーク コンポーネントがすべてインストールおよび設定されており、それらが正しく動作していることを想定して記述されています。

このマニュアルでの記号



重要： この記号は、プロセスの遅延、または機能、信頼性、品質の低下を引き起こす可能性があるものを示します。



注意： 注意する必要がある重要な追加情報が記載されています。



ヒント： この記号は、タスクをより速く、より容易に行うために役立つ情報を示します。

PDF ドキュメント

このマニュアルは、Prinergy インストール DVD に PDF（Portable Document Format）形式で提供されています。

PDF ドキュメントのオンライン表示と印刷には、Adobe Acrobat Reader を使用します。マニュアルを印刷する際は、著作権および免責条項を含めたマニュアル全体を印刷してください。

その他の情報

マニュアル、トレーニング コース、ダウンロード、およびサービスとサポートの連絡先については、www.creo.com を参照してください。

1 サーバーのアップグレード

概要 2
アップグレード ツールおよび Prinergy アップデートのコピー 3
サーバーで Pre-Installation Check を実行 5
サーバーのアップデート 5
サーバーでの JTP の確認 7

概要

このガイドを使用して、Prinergy 3.0.3.y システムを 3.1 にアップグレードします。

所要時間

平均的なシステムのアップグレードは、完了までに数時間かかることがあります。アップグレードの実行には十分な時間をとり、この間に Prinergy システムでジョブを処理できないことをご理解ください。

サポート センターへの問い合わせ

アップグレードの前後またはアップグレード中に Creo サポート センターに連絡する必要がある場合は、以下の電話番号にお問い合わせください。

- 北米：1-800-472-2727
- 日本：0800-919-0900

システム要件

アップグレードを開始する前に、以下のシステム要件を満たしていることを確認してください。ご使用のシステムが、以下のシステム要件をすべて満たしていない場合は、アップグレードしないでください。

- Prinergy 3.0.3.y がインストールされている。
- Prinergy と相互作用する可能性のある製品のベータテストを行っていない。
- 特殊なパッチや実行ファイルなどを使用した、カスタム設定または非標準的な設定を行っていない。
- すべてのサーバーおよびレンダー ステーションが、最低限 Service Pack 4 を装備した Windows 2000 を実行している。
- Workshop クライアント マシンが最低限 Service Pack 4、Mac OS 9.2、または Mac 10.3 を装備した Windows 2000、Windows 2003 または Windows XP を実行している。
- InSite を使用している場合、InSite バージョンは 4.5.0.1987 以降である。
- CS Xpose を使用している場合、CS Xpose バージョンが CS Xpose 2.00.064 アップデート 2 である。
- Print Console を使用している場合は、Print Console のバージョンが 2.1.1.24 以降である。
- Oracle データベース バックアップが過去 24 時間以内に完了し、正常に終了している。

- Prinergy サーバーおよび Workshop クライアント マシンで Adobe Acrobat 5.0.5（または 6.0.1 まで）を実行している。
- Aladdin Systems StuffIt ExpanderTM が各 Mac クライアント マシンにインストールされている。StuffIt Expander は www.stuffit.com から無料でご利用になれます。

システム要件、Prinergy 3.1 アップグレード中の処理、アップグレードによるインストール内容についての詳細は、Prinergy 3.1 アップグレード DVD で Prinergy3.1 Readme.txt ファイルを参照してください。

ご用意いただくもの

- Prinergy 3.1 アップグレード DVD、または eCentral（https://ecentral.creo.com/jp/login-home1.htm/）にアクセスしてアップグレード ファイルをダウンロードしてください。

アップグレード ツールおよび Prinergy アップデートのコピー

Prinergy システムをアップグレードする前に、Prinergy 3.1 アップグレード DVD または登録ユーザーの方は eCentral から、PPU.exe、PUpdate.exe、Precheck.exe、および Prinergy アップデートをコピーする必要があります。

ヒント： eCentral に定期的にアクセスして、Prinergy の新規および改訂ドキュメントやダウンロード ファイルを入手してください。eCentral の登録ユーザーではない場合は、https://ecentral.creo.com/jp/login-home1.htm/ でオンライン登録できます。

PPU、PUpdate およびアップデート ファイルをサーバーにコピーするには

1. 十分な空き容量のあるローカル ドライブに、「**Updates**」というフォルダを作成します。

   ジョブドライブ（通常は **J**：または **G**：ドライブ）に［**Updates**］フォルダを作成することをお勧めします。ジョブ ドライブに十分な空き容量がないか、サーバーにジョブ ドライブが存在しない場合、［**DataLog**］ドライブ（通常は **E**：ドライブ）を使用できます。

   ［System］ドライブにフォルダを作成しないでください。

   DVD または eCentral からコピーするファイルはメジャー アップデートでは約 1 GB、各マイナー アップデートでは 500 MB 以上の空き容量が必要です。

2. Prinergy 3.1 アップグレード DVD の内容（または eCentral からダウンロードしたファイル）を［**Updates**］フォルダにコピーします。

   コピーする内容は、以下のとおりです。

   - PUpdate.exe v3.1.0.0 以降
   - PPU.exe v3.1.0.0 以降
   - PreCheck.exe v3.1.0.0

   注意： バージョン番号を確認するには、ファイルを右クリックして、［**Properties（プロパティ）**］［**Version（バージョン）**］タブの順に選択します。

   - PreCheck.py スクリプト
   - Prinergy 3.1.0.0 メジャー アップデート
   - 利用可能な 3.1.0.y マイナー アップデート
   - 各アップデートの Readme.txt ファイル
   - 『Prinergy 3.1 アップグレード ガイド』（このマニュアル）

3. お使いのシステムの各サーバーおよびレンダー ステーションに対して手順 1 および 2 を繰り返します。

   重要： セカンダリ サーバーまたはレンダー ステーションをアップグレードする場合、プライマリ サーバーを先にアップグレードすることを強く推奨します。これは、EPM+（ホット スタンバイ）サーバーとして設定されたセカンダリ サーバーには特に重要です。

   PPU.exe、PUpdate.exe、およびアップデート ファイル（*.ppu）を各サーバーおよびレンダー ステーションにコピーする必要があります。プライマリ サーバーだけにコピーした後、各セカンダリ サーバーからドライブをマップ**しない**でください。つまり、セカンダリ サーバーからは共有フォルダに接続しないでください。セカンダリ サーバーから共有フォルダに接続した場合、セカンダリ サーバーのアップデート中にプライマリ サーバーが再起動されるか接続が切断されると、正しくアップグレードを完了できません。

注意： 上記の手順 2 で DVD からコピーされたファイルは、アップグレードが正常に完了した後、［**Updates**］フォルダから削除できます。

サーバーで Pre-Installation Check を実行

Prinergy 3.1 Pre-Installation Requirement Check アプリケーションの目的は、アップグレードの実行前に、対処が必要な競合に関する情報をユーザーに警告することです。このアプリケーションは、システムに Prinergy および InSite の必要最小限のバージョンがインストールされているかどうか、およびパスのマイグレーションが完了しているかどうかを確認します。

サーバーのアップデートとは異なり、Prinergy を終了せずに Pre-Installation Check を続けて実行できます。

PreCheck ソフトウェアを起動するには

1. ［**Updates**］フォルダにある **PreCheck.exe** ファイルをダブルクリックします。
2. 検出された問題があれば、アップグレードを続行する前に解決します。

サーバーのアップデート

Pre-installation check で問題が解決されたことを確認したら、すべてのサーバーとレンダー ステーションをアップデートできます。

重要： セカンダリ サーバーまたはレンダー ステーションをアップグレードする場合、プライマリ サーバーを先にアップグレードすることを強く推奨します。これは、EPM+（ホット スタンバイ）サーバーとして設定されたセカンダリ サーバーには特に重要です。

サーバーをアップデートするには

1. **PUpdate.exe** を実行します。Prinergy Update Utility が表示されます（図 1）。

   重要： PUpdate.exe を起動した後は、GUI ウィンドウを閉じないでください。
2. ドロップダウン メニューから希望の言語を選択します。

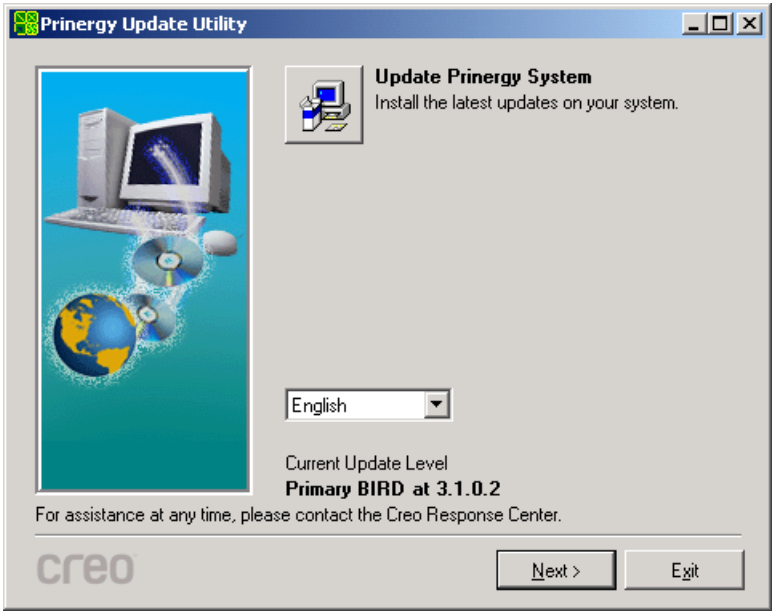


図 1： [Prinergy Update Utility] ダイアログ ボックス

3. ファイル パスを入力するか、ディレクトリを参照して、アップデートを保存する場所を指定し、[**Next (次へ)**] をクリックしてください。アップデート ファイルのリストが表示されます。

   注意： 「アップグレード ツールおよび Prinergy アップデートのコピー」ではローカル ディレクトリにアップデート ファイルをコピーするよう推奨しています。これにより、この手順で警告メッセージが表示されるのを防ぎます。

4. スナップショット用のターゲット ドライブを指定して、[**Next (次へ)**] をクリックします。

   ディスク空き容量が最大のドライブを選択します（通常はジョブ ドライブの 1 つです）。インストーラ ソフトウェアでは、ネットワーク、CD、DVD の共有ドライブ、またはディスク容量が十分でないドライブは選択できません（[**Next (次へ)**] ボタンが無効になります）。

5. ［**Start（開始）**］ボタンをクリックして、アップグレードを開始します。進行状況が画面に表示されます。

   ［**Start（開始）**］ボタンをクリックすると、サーバー上のすべての Prinergy サービスと InSite サービス、およびサーバーに接続されたすべてのリモート InSite サービスがアップグレード プロセスを開始するために停止します。

   ［**Start（開始）**］ボタンをクリックすると、アップグレード前およびアップグレード中に多数の内部チェックが実行され、すべてのシステム要件を満たしていない（たとえば、正しくないインストール キーが入力されている、または Oracle データベースがバックアップされていないなど）場合は、アップグレードが停止します。

   アップグレード中にエラー メッセージが表示された場合は、Creo サポート センターにお問い合わせください。

   プロセスが終了すると、正しく**完了**したことを示す画面が表示されます。

6. ［**Exit（終了）**］をクリックします。［**Exit（終了）**］をクリックすると、サーバーの再起動を指示するメッセージが表示される場合があります。再起動を指示するメッセージが表示された場合は、その他のマシンがサーバーに接続されていないことを確認してから、サーバーを手動で再起動します。

7. すべてのサーバーで手順 1 から 6 を繰り返します。

すべてのサーバーが Prinergy 3.1 にアップデートしてから次のセクションに進みます。

サーバーでの JTP の確認

Prinergy が再起動した後、各サーバーで通常実行しているすべての JTP（Job Ticket Processors）が実行していることを確認します。

JTP が実行していることを確認するには

Prinergy Administrator の［**JTP**］タブで、サーバーで通常実行しているすべての JTP が表示され、それぞれが［**Ready（準備完了）**］ステータスであることを確認します。

2

Workshop のアップグレード

Pinergy 3.1 への Workshop のアップグレード 10
PCI を使用した Workshop ソフトウェアのアップデート 10

Pinergy 3.1 への Workshop のアップグレード

すべてのサーバーおよびレンダー ステーションが Prinergy 3.1 にアップグレードされると、Workshop クライアントを Prinergy 3.1 にアップグレードできます。

Prinergy 3 に搭載されている新しい Workshop インストーラを使用して Mac OS X、Windows 2000、Windows 2003、または Windows XP のクライアント コンピュータに Prinergy ソフトウェアをインストールし、アップデートします。ログインすると、Prinergy Client Installer（PCI）が Prinergy クライアント ソフトウェアのインストール、アップデート、および設定を同時に行うため、より確実かつ簡単にアップデートすることができます。



注意： 新しい Workshop インストーラは、Mac OS 9 クライアント コンピュータでは使用できません。Mac OS 9 コンピュータで Prinergy Workshop をアップデートする場合、ログイン ソフトウェアは以前のバージョンの Prinergy Workshop インストーラと Client Auto- Update（CAU）ツールを選択します。

ハードウェア要件、クライアント コンピュータでのソフトウェアの削除、インストール、およびアップデートに関する詳細は、『Prinergy 3 Client Computer Installation Guide』（731-00755A）を参照してください。

PCI を使用した Workshop ソフトウェアのアップデート

Prinergy の新しいバージョンをサーバーにインストールしたら、すべてのクライアント コンピュータで Prinergy Workshop とその他のソフトウェアをアップデートする必要があります。

サーバー ソフトウェアのアップデート後に Prinergy Workshop を起動してログインすると、クライアント コンピュータの Prinergy ソフトウェアのバージョンが Prinergy サーバーのバージョンと異なることを認識します。ダイアログ ボックスで、Workshop を使用する前にクライアント コンピュータと Prinergy サーバーを同期化するよう求められます。同期化を選択すると Prinergy Client Installer ソフトウェアが起動し、アップデート画面が進行に従って表示されます。

アップデート中、インストールする項目を選択する必要はありません。インストーラ ソフトウェアにより、クライアント コンピュータに既にインストールされている Prinergy Workshop ソフトウェアのアップデートが自動的にインストールされます。

クライアント コンピュータでソフトウェア コンポーネントを追加または削除するには、インストーラ ソフトウェアを手動で再実行する必要があります。手順については、『Prinergy 3 Client Computer Installation Guide』を参照してください。

注意： クライアント コンピュータで Virtual Proofing ソフトウェアまたは Preps Workshop エディションなど、他のソフトウェアを開いている場合、クライアント コンピュータをアップデートする前に、そのソフトウェアを終了してください。

Macintosh または Windows クライアント コンピュータで Prinergy ソフトウェアをアップデートするには

1. すべてのサーバーとレンダー ステーションをアップデート後に Workshop を起動します。

   Workshop のバージョン フィールドのソフトウェア バージョン番号は、Prinergy サーバーのバージョン フィールドの番号とは異なります。

2. ［**ログイン**］をクリックします。
3. ［Workshop の同期化］ダイアログ ボックスで、［**はい**］をクリックします。（［**いいえ**］をクリックすると、Workshop にログインできません。）

   Macintosh を使用している場合、［認証］ダイアログ ボックスで、［**ロック**］アイコンをクリックして、管理者パスワードを入力します。［**OK**］をクリックします。

4. Workshop インストーラ ソフトウェアが開きます。インストーラ ソフトウェアの指示に従って、クライアント コンピュータ ソフトウェアをアップデートします。

   インストールが完了すると、［Workshop インストール完了］ダイアログ ボックスが表示されます。

5. ［**終了**］をクリックして、インストーラを終了し、Workshop ソフトウェアを起動します。

注意： Workshop クライアントはすべての Prinergy サーバーにインストールされます。このため、各サーバーおよびレンダー ステーションでこの手順を実行してください。

3 アップグレードの完了

サポート センターへのアップグレード完了の連絡 14

サポート センターへのアップグレード完了の連絡

アップグレードが完了したら、Prinergy 3.1 をご使用のシステムで実行していることをサポート センターにお知らせください。eCentral にご登録いただいているかどうかにより、以下のいずれかの方法でご連絡いただけるように準備しておりますが、日本のお客様につきましてはエンジニアが御社にてアップデートを行う方法をとらせていただいております。

eCentral にユーザー登録している場合

1. eCentral（https://ecentral.creo.com/jp/login-home1.htm/）にログインします。
2. ［**セルフ サポート**］>［**ダウンロード**］をクリックします。［ダウンロード］ページの［**ガイド付きアップグレード**］で、［**Prinergy 3.1**］をクリックします。
3. ［Prinergy アップグレード］ページの先頭で、［**Request Support（サポートの依頼）**］をクリックします。
4. ［Request Support（サポートの依頼）］ページで、［**View/Upgrade Request（依頼の表示／アップグレード）**］をクリックします。
5. ［**Request ID（依頼 ID）**］ボックスに、最初に連絡したときに割り当てられた［**Service Request ID（サービス依頼 ID）**］を入力します。［**List Requests（依頼の一覧）**］をクリックします。
6. ページの左側の［**Add Notes（追加のコメント）**］をクリックし、Prinergy システムが正常にアップグレードされたことを確認します。実行中の Prinergy バージョンを示してください（たとえば、Prinergy 3.1.0.2）。Prinergy 3.1 アップグレードに関するご意見などがありましたら入力してください。

eCentral にユーザー登録していない場合

1. Creo サポート センターに電話をかけます。
2. サポート センターの担当者に、Prinergy システムを正常にアップグレードしたことを通知してください。実行中の Prinergy バージョンをお伝えください（たとえば Prinergy 3.1.0.2）。

A

トラブルシューティングのヒント

アップグレード時に発生する一般的な問題.....16

アップグレード時に発生する一般的な問題

この章では、アップグレード中に発生する一般的な問題を取り上げ、その解決法を示します。

現在わかっている問題はありません。

B

Prinergy を以前のバージョンに戻す

概要 18
サーバーおよびレンダー ステーションを以前のバージョンに戻す 18
クライアントの Prinergy を以前のバージョンに戻す 18

概要

Prinergy 3.1 から Prinergy の 3.0.3.y のバージョンに戻す必要がある場合は、サーバーおよびレンダー ステーションの再インストールの詳細を Creo サポート センターにお問い合わせください。

これで、クライアント コンピュータに Workshop の旧バージョンを Prinergy Client Installer（PCI）で再インストールするか、Mac OS 9 を使用している場合は、Client Auto Update（CAU）ユーティリティを使用して再インストールできます。



重要： 特に記載がない限り、この章では Prinergy 3.1 アップグレードより前にお使いの Prinergy システムが 3.0.3.y 以降であると想定します。Prinergy 3.1 アップグレードの前のシステムが 3.0.3.y 以前である場合、クライアント マシンのロールバックを実行しないでください。この場合は、Creo サポート センターにお問い合わせください。

注意： Prinergy 3.1.0.2 をお使いの場合、ホットフォルダの設定は、レジストリではなくデータベース内に保存されています。Prinergy 3.1.0.2 以降のシステムを一定の期間使用した後にロールバックすると、3.1.0.2 以降のバージョンで作成されたホット フォルダをレジストリに戻すことができなくなります。つまり、3.1.0.1 以前のバージョンにロールバックする場合、3.1.0.2 以降のバージョンで作成されたホット フォルダは失われます。

サーバーおよびレンダー ステーションを以前のバージョンに戻す

Prinergy 3.1 をサーバーとレンダー ステーションからアンインストールし、前の Prinergy バージョンに戻す場合は、Creo サポート センターに連絡してください。この手順は、ご自身で実行しないでください。

Creo サポート センターの担当者が、リモートでサーバーおよびレンダー ステーションを以前の Prinergy バージョンに戻します。

クライアントの Prinergy を以前のバージョンに戻す

Creo サポート センターの担当者が、サーバーおよびレンダー ステーションを Prinergy の以前のバージョンに戻した後、各 Workshop クライアントに対して以下のいずれかの操作を実行する必要があります。

- Prinergy Client Installer（PCI）を使用して、Prinergy Workshop クライアント ソフトウェアをサーバーと同じバージョンに同期化します。ログイン ダイアログで Workshop を開き、［**はい**］をクリックして同期化します。
- クライアント コンピュータが Mac OS 9 を実行している場合、Client Auto-Updater（CAU）を使用します。ログイン ダイアログで Workshop を開き、［**更新**］と［**インストールの完了**］をクリックします。

用語集

Adobe Acrobat	Adobe の PDF（Portable Document Format）で文書を作成、編集するためのデスクトップ ソフトウェア。
Adobe Extreme	Prinergy の中心技術の一部を提供する、高性能な印刷生産向けのアーキテクチャ。PDF、Portable Job Ticket Format（PJTF）、および通信構造の下層レイヤーがサポートされます。 Adobe Extreme コンポーネントには、JTP（Job Ticket Processors）と Extreme Coordinator（supra.exe）が含まれています。
Basic Backup	Prinergy のデフォルトのバックアップ オプション。［Oracle Backup Manager］を通して、Prinergy データベースをローカル ディスクに定期的にバックアップする手段です。システム ドライブをバックアップする手段ではありません。
CAU（Client Auto Update）ユーティリティ	プライマリ サーバーでアップデートされた Workshop クライアント ソフトウェアの新しいバージョンを検出し、クライアントをそのバージョンにアップデートできるようにします。Prinergy 3.1 では、Mac OS 9 を使用する Macintosh コンピュータで Workshop をインストールまたはアップデートする場合にのみ使用します。
eCentral	Creo のオンライン サービス。ユーザー登録すると、ソフトウェアをダウンロードしたり、オンライン サポートを受けたり、Creo の製品情報を入手したりすることができます。
InSite	印刷会社の製作ワークフローを支援する Web ポータルです。InSite を使用した安全で管理されたアクセスを行うことにより、顧客（印刷物の購入者）がジョブにアクセスすることが可能になります。InSite を使用して、顧客はファイルのアップロードおよびダウンロード、リモートでのページ校正、注釈の追加、変更依頼、PDF ファイルの校了、処理履歴やジョブ ステータス情報の表示を行うことができます。
JTP（Job Ticket Processor）	Adobe Extreme のジョブ チケットの処理に必要な手順を実行するソフトウェア。JTP は Prinergy Administrator を使用して設定します。
Oracle Backup Manager	ローカル ディスクに Oracle データベースのバックアップを設定および計画するために使用するソフトウェア。Prinergy システムに含まれています。

Oracle データベース	Prinergy のジョブ情報を保存するデータベース。ファイル属性および履歴ログを含むすべての Prinergy ファイル情報が含まれます。ジョブの内容は含まれません。 プライマリ サーバーにあり、1 つの Prinergy システムに対する Oracle データベースは 1 つです。
Prinergy Client Installer（PCI）	プライマリ サーバーでアップデートされた Workshop クライアント ソフトウェアの新しいバージョンを検出し、クライアントをそのバージョンにアップデートできるようにします。
PDF（Portable Document Format）	ページのライン アート、画像、およびテキスト（必要なフォントすべてを含む）を保存するための信頼性の高いファイル形式。
PPU（Prinergy Patch Utility）	Prinergy ソフトウェア アップデートをインストールする時に使用するコマンド ライン ユーティリティ。インストール済みのアップデートに関する情報を取得、削除することもできます。
PreCheck.exe	Prinergy Pre-Installation Requirement Check アプリケーション（PreCheck.exe）は、アップグレードの実行前に、対処が必要な競合に関する情報をユーザーに警告します。
Prinergy Administrator	Prinergy システム管理者のユーザー インターフェイスとなるソフトウェア。Prinergy Administrator では、JTP の設定、サーバーの追加と削除、Prinergy サーバーの起動と停止、システムの監視を行います。Prinergy システムの各サーバーに自動的にインストールされます。。一部のタスクは、プライマリ サーバーの Prinergy Administrator で実行する必要があります。
Prinergy Online Backup	［Prinergy Online Backup］オプションは、ディスクおよびメディアに Prinergy システムのオンライン バックアップを実行する手段です。つまり、Prinergy の実行中にシステムがバックアップされます。システムを通常どおりに使用でき、ファイルを開いてもバックアップに影響はありません。このオプションには、Oracle Backup Manager および Prinergy Backup ソフトウェアが含まれます。
Prinergy Workshop	Prinergy システムのメイン クライアント ソフトウェア。システムのメイン ユーザー インターフェイスとして、Prinergy のオペレーターがジョブおよびプロセス プランのを作成、編集、および破棄を行います。Macintosh または Windows のどちらででも実行できる Java ソフトウェアです。
Print Console	ワークフロー ソフトウェアを出力デバイスに接続する独立型デバイス管理ソフトウェア。

PUpdate.exe
PUpdate.exe アプリケーションは、Prinergy をアップグレードし、メジャー アップデートおよびマイナー アップデートを適用するために使用するソフトウェアです。

クライアント コンピュータ
Prinergy Workshop を実行するコンピュータ。Workshop は Prinergy のメイン ユーザー インターフェイスです。

ジョブ
出力するファイルを整理するために使用される単位。通常ジョブは、特定の出版物に必要なコンポーネントすべてで構成されますが、そうでない場合もあります。ジョブを作成すると、Prinergy が、ジョブ フォルダとジョブを追跡するためのデータベース エントリを作成します。

ジョブ チケット
Adobe Extreme での、Prinergy で実行するべき 1 つまたは複数の処理段階に関連する情報の集合体。この情報には、どの JTP をどの順序で使用するかを指定したマップまたはルートが含まれています。また、処理するファイル、処理オプション、出力先、および面付けプランに関する情報が含まれている場合もあります。

セカンダリ サーバー
Prinergy システム内の、プライマリ サーバーでないサーバー。Prinergy サーバー ソフトウェアを実行しますが、Oracle データベースがないサーバーです。セカンダリ サーバーに JTP を作成して起動することにより、処理を分散することができます Prinergy システムでは、複数のセカンダリ サーバーを使用できます。

バックアップ
ディスク クラッシュが発生したときなどの障害を回復する目的で、ディスクのパーティション、ファイル システム、またはファイル システム ディレクトリ構成の一部の完全なコピーを保存する操作。

プライマリ サーバー
Prinergy システムのメイン サーバー コンピュータ。これには、Oracle データベースなど、すべての Prinergy サーバー コンポーネントが含まれます。プライマリ サーバーは Prinergy Workshop からの要求に対応し、データベースを管理します。1 つの Prinergy システムに対するプライマリ サーバーは 1 台のみです。

マイナー アップデート
a.b.x.y のような 4 桁のバージョン番号で識別される、Prinergy ソフトウェアのアップデート。a はメジャー ソフトウェア リリース、b はマイナー リリース、x はメジャー アップデート、y はマイナー アップデートの番号です。y の数値は、新しいマイナー アップデートがリリースされるたびに増加します。たとえば、3.1.0.1 と 3.1.0.2 は双方とも Prinergy 3.1 のマイナー アップデートです。

レンダー ステーション
出力デバイスに接続されているセカンダリ サーバー。通常はジョブの保存や他の種類の JTP の実行に使用されることはありません。出力用のレンダー ファイルのみに使用できます。

索引

D

DVD からアップグレードファイルをコピーする 3

E

eCentral をチェックする 3

J

JTP
    ステータスの確認 7
JTP の確認 7

P

PreCheck ソフトウェア 5
Prinergy Update Utility（PUpdate）5
Prinergy アップグレード DVD の内容 4
Prinergy を以前のバージョンに戻す
    サーバーとレンダー ステーション 18

U

Updates フォルダ 3

W

Workshop のアップデート 10
Workshop の同期化ダイアログ ボックス 11

あ

アップグレード
    Workshop クライアント 10
    アップグレードの前に 1
    必須ファイル 4
アップグレード時に発生する一般的な問題 16
アップグレード ファイルのバージョン番号の確認 4
アップデート
    Mac OS 9 クライアント コンピュータの Workshop 10
    Workshop ソフトウェア 10

く

クライアント コンピュータ
    アップグレード 10
クライアント コンピュータ上の Virtual Proofing ソフトウェア 11

さ

サーバー
    アップグレード 5
サポート センター
    アップグレード完了の連絡 14

と

トラブルシューティング 15

ま

前の Prinergy バージョンに戻す
    Mac OS 9 クライアント コンピュータ 18
    クライアント コンピュータ 18

よ

用語集 19

www.creo.com | creo™